

長年の功績に深く敬意を表します

平成25年度大館市功労者

大館市功労者表彰は、社会福祉の増進、教育文化の発展、産業の振興、保健衛生の向上など、広く市民の模範となる功労があつた個人や団体に対して行われます。毎年、市の記念日である4月1日に表彰式が行われ、今年度は次の方々が表彰されました。



浅利 司氏
(向館・77歳)

平成8年から、田代町教育委員会社会教育指導員、田代公民館長、田代町教育委員長、田代町史編さん委員、大館市放課後子ども教室実行委員会会長、大館地区保護司、田代町民生委員推薦会委員など様々な役職を務め、地域の発展に尽くされました。
特に、社会教育計画の改革や、小学校統合に向けた基盤づくり、安全管理員配置等による子どもの安全安心確保に向けた取り組みなど、教育分野を中心とした活動により市の教育文化の進展に大きく寄与されました。



石代 博氏
(長走・81歳)

昭和40年から通算10期約27年の長きにわたり、農業委員として市の農業生産力の進展及び農業経営の合理化等による農家の地位向上に尽力され、現在も同委員として活躍されています。
また、昭和45年から35年間、優良秋田杉の産地において、矢立地区生産森林組合連絡協議会会長として森林環境の保全と林業の生産性向上等に努められました。
一方で、平成5年から約15年間、矢立地区自主防災組織連絡協議会会長として地域の防災活動にも貢献されました。



石戸谷 健司氏
(谷地町・84歳)

昭和39年から大館菊花同好会会員として菊花の栽培技術と知識の習得に努め、同副会長を昭和56年から4年間、会長を昭和60年から26年間歴任。「大館市の花」である菊の普及と発展、愛好者の拡大と育成に努められました。
また、菊花展の開催による産業祭への協力等、各種イベントの成功に貢献されたほか、菊花栽培の相談や観賞方法の指導などに尽力されました。
更に、市内各小学校での菊栽培指導等を務め、菊花を通じて教育活動も積極的に推進されました。



佐々木 勤氏
(住吉町・81歳)

平成元年から現在まで約25年の長きにわたり、広範囲にわたる市街地道路において、ほぼ毎日、歩道上に捨てられたごみの清掃や雑草の除草に取り組みされるなど、道路環境の美化に尽力されました。
その活動の範囲は多くの児童が利用している通学路でもあり、地域の子どもたちの環境美化に対する意識や道徳心の向上に与えられた影響は計り知れません。
美徳にあふれる行動は、地道ながらも広く市民に対し模範となる善行として大きな賛辞に値します。



柴田 レイ子氏
(中味噌内・78歳)

昭和49年から36年間の長きにわたり、民生委員児童委員として福祉行政の推進に多大な貢献をされました。
また、昭和54年から約26年間、比内町明るい選挙推進委員として選挙の公明化の進展に寄与されたほか、昭和60年から20年間、比内町連合婦人会副会長として市の様々な事業に協力され、女性の地位向上に取り組みされました。
更には昭和59年から20年間、比内町農村婦人の家加工部長として地域の活性化にも尽力されるなど、幅広く社会に貢献されました。